

# 港北区災害ボランティア連絡会 News



事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸13-1吉田ビル206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

FB 港北区災害ボランティア連絡会

111号

2022年12月



\*入会は随時受け付けています。

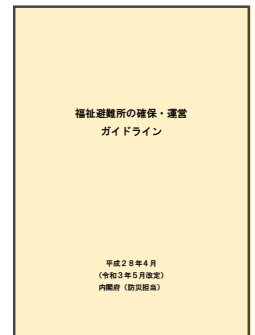
\*あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください。

## 福祉避難所、ようやく直接避難への道を開く

内閣府が2021年5月に福祉避難所のガイドライン改定を行いました。

### 改定のポイント

1. 内閣府ガイドライン改定：災害発生、または災害発生の恐れがある場合に早期の指定福祉避難所開設と受け入れを行う
2. 指定福祉避難所の対象者以外の住民が集中することの無いよう、対象者を特定し、その人たちのための避難所である旨の表示も行う
3. 混乱を避けるため 日ごろから利用している施設への直接避難を促進する
4. 一般避難所でも要配慮者スペースの確保のための支援をする



内閣府：防災情報のページからダウンロードできます

### 1. 頑張してほしい行政

避難所の開設運営は基礎自治体（市区町村）の業務ですが、横浜市はまだガイドラインに沿った改定を公表していません。対象者の特定を急ぐとともに、福祉避難所施設の機能強化のため備蓄等の支援も充実させ、高齢者や障害者が安心できる体制を作ってほしいものです。

### 2. 地域防災拠点（指定避難所）は福祉避難室を設置しよう

また福祉避難所を利用しにくい方も出ることを予想して、特別な事情を抱えた人が苦勞しないような配慮が求められています。こんな部屋があると赤ちゃん連れも助かります。

### 3. 当事者と家族も努力しよう

避難訓練に参加して、地域には私たちも暮らしているのだとアピールすることは大切なことです。その結果避難所運営委員も事前に計画化しておく必要性を感じるようになるからです。また避難生活は普段の生活ペースを保てなくなりますから、気晴らしグッズを避難の際用意すると役に立ちます。これは赤ちゃんや幼児にも共通します。

### 4. 在宅避難も視野に入れよう

福祉避難所となっても介護の不安があります。避難所が良いか、自宅で頑張るかを考える必要があります。在宅避難の場合は何とか住める状態を維持する努力をしておく必要がありますから、家具の固定や籠城ができるトイレセット、トイレトーパーと食料や水の備蓄は必須です。

そして在宅避難で大事なことは地域の避難所に在宅避難の届けを出しておくことです。そうすれば拠点から物資配給など受けることができます。拠点の運営委員会は在宅避難者への支援方法も立てておく必要が絶対にあります。

(宇田川)

# 補助犬は 身体の一部



## 1.はじめに

以前『クレヨンしんちゃん』を見ていた時、『(ペットの)シロは家族だもん』という台詞がありました。ここで取り上げる補助犬は、家族どころか、お手伝いが必要な方の身体の一部です。

補助犬は、日々の生活だけでなく、避難生活でも接する事になります。接し方を覚えましょう。

## 2.補助犬って？

「盲導犬」はお聞きになったことがあると思います。その他に、聴力をお手伝いする「聴導犬」、身体の動きをお手伝いする「介助犬」があります。

みんな、吠えたりしない、衛生上の配慮などの厳しい訓練ののちに、補助犬としてお手伝いをしています。

## 3.補助犬と避難場所

避難準備には、「ペットの避難場所確保」がありますが、補助犬は、身体の一部ですから、お手伝いが必要な方と一緒に避難しなければなりません。港北区の避難場所は、地域住民が全員避難すると、一人当たり畳一畳分しかないという話を聞いた事がありますが、その避難場所で補助犬も一緒に生活することになります。避難場所の運営においては、このような事まで頭に入れておかなければなりません。また、避難生活を送る方も、補助犬との接し方を覚えておく必要があります。

## 4.補助犬との接し方

日常生活において、補助犬に対して「衛生上の危惧がある」からと入店を断ったり、補助犬に「かわいい」と触ったりする方が多いとも聞きますが、補助犬は身体の一部です。入店を受け入れて、触ったりしないでください。

## 5.おわりに

日常生活や避難生活において、補助犬と「共生」することは必須です。必要な知識を身に付けましょう。(岩撫)

上部のイラストはイラストAC(<https://www.ac-illustr.com>)より許諾を得て掲載しております。

## 二つのお祭りに参加しました



11月13日(日)菊名地区センター前庭で行われたミニらくらく市は区内で活動する12団体が参加、暖かく動きやすい天候のなかお客さんも三々五々賑わって、用意した被災地支援品(女川、陸前高田、熊本など)に関心も高く販売できました。23日(祝)はアリーナ開催の港北ふれあい祭り、雨模様の1日でしたがステージを中心に多くの団体のブースが立ち、多くの来客で賑わい、災ボラの活動を知ってもらい支援品を販売するよい機会になりました。日頃交流できない災ボラ連絡会のお仲間とも和気あいあい楽しかったです。

(松尾)

## 近藤さん、表彰される

10月28日に開かれた港北区社会福祉大会で当連絡会会員の近藤寿一郎さんがボランティア活動功労で表彰されました。港北手話サークル・あじさいの会での長年の活動を評価されたものです。おめでとうございます。

## 関東大震災から99年～イザというときの備え～

10月26日(水)に「水マス学校」をZoomで視聴。先生役の岸由二先生(慶應義塾大学名誉教授)と生徒役のNOZOMI&バクちゃんの遊び感覚で学べる素晴らしい教材です。

以下の二次元コードから申し込むとオンデマンドで視聴ができます。ご家族や学校や職場で、みんなで楽しくおしゃべりしながら見てはいかがですか。





鶴見川は暴れ川ですが、人の営みに不可欠な水と肥沃な大地をもたらす自然の恵み。四季折々多様ないきものが暮らす豊かな自然の宝庫です。ハザードマップを片手に鶴見川の自然の恵みと過去何度となく繰り返された大水害の歴史をたどりバクちゃんの「川のあるまち」を歩かれてはどうでしょう。

鶴見川流域のキャラクターは動物「バク」の形に似ているためバクちゃんとの愛称が付いています。11月1日には鶴見川佃野防災拠点・船着場など「川のあるまち」の秋日ウォークをしてイライラを吹き飛ばしました。釣りアジフライ定食は旨い!人情味ある昭和レトロの中華屋さん。「また来るよ」、「待っているよ」との下町情緒にほっこり。


鶴見川の流域が一体となった、洪水対策の取り組みである水マス連続講座は6回予定。ライブとオンデマンドで視聴可能。豊かな自然と流域文化・風土を学び直したい。

4年間癌闘病とコロナで外出とおしゃべりする機会が減った。足腰の衰え、物忘れがひどい。ストレスで癌の再発・高血圧などの生活習慣病の悪化が心配です。鶴見川全長42.5キロ踏破したい。今自分の足で歩き、自分で口から食ベトイレにいけるのは本当にありがたい。一日でも長く自分の世話は自分で、人のお世話できる心身を。「川のあるまち」を二本足で歩きたいです。

1923年9月1日東京・横浜中心に死者・行方不明10万5千人の被害を出した大地震から来年で100周年。地域から防災活動を見直してみたいです。(児島 正)

		<b>** 鶴見川流域水マスタープラン(水マス) **</b> 鶴見川流域を水害のない、安全で、川辺や街に多様な生きものがくらすことができるように市民・市民団体・企業・行政が連携して実施する施策です <b>***** 水マス推進サポーター *****</b> 水マスを推進する市民や企業のこと
<b>***** 連続講座 予定 *****</b> 各回午後 7:30~9:31 申し込み受付中 第1回 7/5(水)鶴見川の秘密をさぐるの巻 終了 第2回 7/29(金)地球温暖化時代にどうなる鶴見川 12月16日(金)に延期 第3回 8/31(水)タマちゃん感動から20年~鶴見川の水質のホント~終了 第4回 9/28(水)生きものにぎわいグリーンインフラ 終了 見逃し配信 11月6日(日)まで 第5回 10/26(水)関東大震災から99年~イザというときの備え~ 第6回 11/25(金)子どもたちを地球につなぐ~センソオブランダー~ プログラムは変更になる場合もあります	 <b>先生</b> 岸由二さん 慶應義塾大学名誉教授	 <b>生徒</b> NOZOMI&バクちゃん

鶴見川流域水マスタープラン(水マス)講座申し込みはこちらから



上記案内は京浜河川事務所よりご提供いただきました

## レーザープリンター使いました



災害時のボランティア活動で最も重要なことは情報の受発信です。災害ボランティアセンターの活動内容を広く発信して被災した区民に適切なボランティア活動の情報を届けるのは災害ボランティアセンターの大切な役割です。その際に必要なのはやはり紙情報です。

10月定例会ではそのために役立つ新しいプリンターの試運転をしました。区がボランティア班の予算で購入してくれたものです。レーザープリンターなので水に濡れてもインクが流れません。ラミネーターも購入済みなので、掲示物を作る際に効果を発揮します。定例会では早速会員のスマホやPCからデータを送って印刷し、それぞれ広報したいことを共有することができました。またカラー印刷ができるので、ネット上にある多くの災害関連の情報や防災ゲームなどを定例会ですぐに共有することができます。定例会に参加される方は当日データでお持ちいただくか、参加できない方も含め事前に役員にデータを送ってくだされば印刷が可能となります。せっかくの機材です。有効活用していきましょう。

またボランティア班からは湯沸かしポットも合わせて購入していただきました。昨年度予算で購入した災害食もこれで温かく食べることができます。

(宇田川)

### 【防災コラム】

#### 罹災証明書

自然災害や火災にあい、住居を含む物件等に被害を受けた場合に行政の各種被災者支援制度を使ったり、税金の減免を申請したりする際に必要な、災害時に一番大切な書類です。行政職員が現地調査をして被害確認をして発行となるので、早くて1週間程度、申請量が多いと一カ月ぐらいかかるようです。

似た名称の罹災届出証明書は損害保険や会社の助成金申請などに使うもので、罹災証明書を請求してますよ、という意味。被害の程度の判定はしないため、即日発行されます。

いずれにせよ、室内外の被災状況がわかるような写真を撮っておくと大変役に立ちます。片付けをしまうと、被害の正確な様子がわからなくなってしまうので注意して下さい。

(宇田川)

#### ～編集後記～

\*冬になって、台風のリスクは減りましたが、地震のリスクは続きます。備えは大丈夫ですか？(岩撫)

\*昔、盲導犬しか知らない時、手話サークルに関わっていたことで「聴導犬」のデモンストレーションに参加しました。「補助犬はハーネスをつけている時はお仕事です」理解しましょう。(付岡)

\*11月初旬に3年ぶりに「北Yまつり(バザー)」を実施することができました。しかし、またコロナ感染者が増加傾向にあるようです。気をつけて過ごしていきたいと思います。(鴨下)

\*盲導犬ユーザーの視覚障がい者と私の、二人と一頭で飲食店に入ろうとして、入店拒否にあったことがあります。私には初体験で、すごくショックでした。(室伏)

\*ウクライナ人道支援のための2回目の募金を11月にボーイスカウト横浜第8団で行いましたが、募金額は4月の半分でした。もう忘れられようとしているのでしょうか。忘れられることが一番辛いと、三陸の方もいわれていたのですが…(中島)